

かんがえてみよう：武士の政権はどのようにしてできたのでしょうか

空欄を埋めましょう！(Fill in the blanks！)

§1 院政の開始

(1) 後三条天皇の政治(11C中頃～)

天皇中心の政治を取り戻す！…不法な荘園を整理して税収の安定を目指した

→ 荘園を経済的な基盤とした藤原氏は大打撃を受けた

(2) 白河天皇の政治

自ら政治を行った → 幼少の天皇に位を譲って、上皇(院)になった

→ 白河上皇として天皇を後見しながら政治の実権を握る(1 院政)を実施

(3) 武士団の形成

① 政治の実権は、摂政・関白を独占した藤原氏から院へ

② 各地の荘園をめぐる争いから大寺院の僧兵が朝廷や院へ押しかけた

→ 僧兵らの要求を防ぎ、上皇の警護をおこなう必要性

⇒ 源氏や平氏などの武士団を活用…武士が中央政治で力をもつようになった

§2 平氏政権

(1) 保元の乱(1156)

原因…皇室や藤原摂関家の内部対立

→ 源氏・平氏の動員…貴族社会の内部対立を武士の軍勢力を使って解決した

(2) 平治の乱(1159)…保元の乱後の恩賞をめぐる争い

→ 源氏の棟梁を倒した(2 平清盛)

→ 武家の棟梁として中央政治で力を持つようになった



▲平清盛

(3)平氏政権

- ①平清盛の政治…武士としてはじめて太政大臣となった
→上皇や貴族の反発が高まった
- ②平清盛の死後…平氏の支配に反発した源氏や諸国の武士が反乱
→平氏の滅亡(1185)

§3 鎌倉幕府の成立

- (1)(3 源頼朝)、征夷大將軍に(1192)
→初の本格的な武家政権である(4 鎌倉幕府)が成立



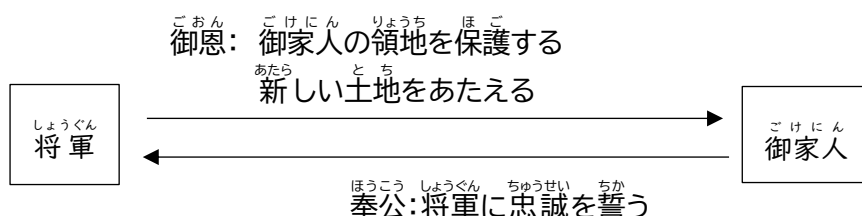
▲源頼朝

(2)鎌倉幕府の支配体制

- ①中央…(5 侍所・政所・問注所)を置いた
- ②地方…国ごとに(6 守護)、荘園・公領ごとに(7 地頭)を置いた

《Point》「(8 御恩と奉公)」…將軍と御家人の主従関係(master-servant relationship)

※(9 御家人)…將軍と主従関係を結んだ武士



書いてみよう : 武士が権力を握るようになった理由をまとめてみよう

(例) 11世紀中頃、藤原氏の摂関政治に反発して、天皇中心の政治を復活させようとした。

そして、その後、上皇や法皇が権力を持つ院政が行われた。武士は、院の警備の仕事をしていたが、だんだんと大きな勢力になり、平氏や源氏などの武士団ができた。

朝廷の貴族たちの内部対立があると、戦いで武士が活躍し、権力を持つようになった。

キーワード : 貴族の内部対立 武士団 平氏 源氏